令和2年度 第2回 見附市国民健康保険運営協議会 会議録(要旨)

1. 日 時 令和3年2月17日(水)午後1時30分開始
2. 場 所 見附市保健福祉センター2F 会議室
3. 会議録署名委員の指名 1号委員 寺尾委員
4. 報告事項
 - ① 第2期見附市国保データヘルス計画中間評価・中間見直しについて
 - ② 令和2年度 見附市国民健康保険事業特別会計決算見込みについて
 - ③ 令和3年度 見附市国民健康保険税率改定検討結果について
 - ④ 令和3年度 国保制度の主な変更点について
5. 審議事項
 - ① 令和3年度見附市国民健康保険事業運営方針等について
 - ② 令和3年度見附市国民健康保険事業特別会計当初予算案について
5. 出席者
 - 1号委員 河村委員、小此鬼委員、岩渕委員、寺尾委員
 - 2号委員 山谷委員、井口委員、山田委員、大原委員
 - 3号委員 田隈委員、岡村委員、大原委員、高橋委員
 - 4号委員 柄澤委員
 - 見附市 池山課長、平瀬課長補佐、山田係長、野崎係長、小林主査
6. 欠席者 田中委員、小柳委員(4号委員)
7. 散会時間 午後2時20分
8. 会議概要 以下のとおり

岡村会長	只今より、令和2年度第2回見附市国民健康保険運営協議会を開催いたします。はじめに健康福祉課長よりご挨拶をいただきます。
池山課長	委員の皆様におかれましてはお忙しい中、またあいにくの大雪の悪荒天の中お集まりいただきましてありがとうございます。 さて、全国的には新型コロナウイルスの感染者数は下がってきてはいるものの、10都府県において緊急事態宣言が発令中であり新潟県においても感染者数が1,000人を超え警報が発令中であります。国においては新型コロナウイルスの感染拡大を阻止し新型コロナウイルスの収束をはかるために一大国家プロジェクトとしてワクチン接種事業を計画しています。見附市においても新型コロナウイルスワクチン接種推進対策室を設けまして準備を進めているところであります。今日の報道でも医療従事者向けの先行接種が始まったというニュースがありましたけれど、本番となる65歳以上の高

	<p> 齢者へのワクチン接種へはまだ明確なスケジュールは示されず、準備に難渋を極めている状況ではありますが、見附市南蒲原郡医師会様と連携を図りながら円滑な接種体制が作れるよう準備してまいりたいと思います。またその内容が決まり次第広報などを通じて市民の皆さんにお知らせしていきたいと思っております。 </p> <p> 本日は報告事項が4件、審議事項が2件ございます。報告事項の大きなものとして一つはデータヘルス計画の中間評価・中間見直しについてです。今年が計画の中間年度という事で1年かけて中間評価を行い完成しましたのでその内容についてご報告します。他に来年度の国保税の税率についても検討をいたしましたのでご報告します。また、来年度の国保運営方針と国保特別会計の予算案の2点については審議事項になります。予算案はこの運営協議会での審議を経て3月4日から始まる3月市議会定例会に議案として上程いたします。よろしくお願いいたします。 </p>
<p>岡村会長</p>	<p> ありがとうございました。 </p> <p> 本協議会は「審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、傍聴希望者がいる場合、傍聴を認めております。本日の会議の傍聴希望者はおりませんでしたのでご報告します </p>
<p>岡村会長</p>	<p> それでは、ここで会議成立のご報告をいたします。 </p> <p> 本日の会議は、4号委員の田中委員、小柳委員が欠席されておりますが、国保運営協議会の委員15名中、13名の出席で、半数以上の出席を得ておりますので、本協議会規則第3条により会議が成立しておりますことをご報告いたします。 </p> <p> 次に、会議録署名委員を指名いたします。 </p> <p> 会議録署名委員には、1号委員の寺尾委員を指名いたしますのでよろしくお願いいたします。 </p>
<p>岡村会長</p>	<p> それでは次第3の「報告」にはいります。 </p> <p> 「①第2期見附市国保データヘルス計画中間評価・中間見直しについて」事務局より説明を求めます。 </p>
<p>山田係長</p>	<p> 報告事項1番「第2期見附市国保データヘルス計画の中間評価・中間見直しについて」ご説明します。 </p> <p> まず、データヘルス計画とは何かについてご説明いたしますと、特定健診や医療のレセプト情報から得られるデータの分析に基づいて、効果的かつ効率的に保健事業を実施するための計画であります。現在は平成30年度から令和5年度までの6年計画の途中であり令和2年度はその中間年ということで、中間評価と必要に応じた見直しをすることとされています。 </p> <p> 右上に「資料1」と書いてある全29ページのものがデータヘルス計画中間評価の完成版になります。11ページまで平成28年度から令和元年度までのデータの経年変化を掲載しています。14ページから16ページには目 </p>

標の達成度合いの評価を掲載しています。17 ページ以降は個別保健事業についてそのやり方や対象者のとらえ方、評価の方法など、実際に行っている中で必要な見直しをしたものを掲載しています。

この中でも 14 ページから 16 ページの目標の達成度を確認するところが今回の中間評価の核になります。目標には 1 年から 3 年程度の短いスパンで評価できる「短期目標」と、5 年～10 年といった長い目で変化の現れる「中・長期目標」をそれぞれ掲げており、これらの目標に対して計画前からどのように変化しているかを確認し、評価しています。これを A 4 の「概要版」にまとめてありますので「概要版」をご覧ください。

まず短期的な目標からみていきます。短期目標 1 つ目として「高血圧」「脂質異常症」「糖尿病」といったいわゆる基礎疾患の患者数の減少という目標を掲げています。患者数については目標通りどの疾患も減少しています。特に「高血圧」は被保険者数 1 人当たり外来医療費で平成 28 年度 19,060 円から令和元年度 15,289 円と大幅に減少しているなど改善の傾向が表れています。

ここには載せていませんが新規患者数でみると「高血圧」「脂質異常症」は県より少ない一方で「糖尿病」が県の 10.79 人に対し見附市は 15.38 人と多くなっています。これは以前からの見附市の課題になっているものです。

2 つ目の目標としてメタボ該当者の減少を掲げていますが、こちらは全体で増加しており改善傾向がみえません。特に男性が増加している状況です。

3 つ目は健診を受けた人の中で基準値以上の数値が出ている有所見者の減少という目標です。まず真ん中の血圧については順調に減少にしています。また、血糖を表す HbA1c と脂質を表す LDL コレステロールについても平成 30 年度までは順調に減少をしています。この 2 つは令和元年度は上昇していますが、この年は健診受診率が 50.8%から 52.0%へと 1.2 ポイント上昇しており、数値の悪い未受診者が新たに健診受診してくれたものと考えられるので悪くない変化ととらえています。

裏面をご覧ください。中・長期的な目標です。こちらでは「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「糖尿病性腎症」といった基礎疾患が進んでさらに重症化した疾病の患者数の減少を目標にしています。

このうち「脳血管疾患」「虚血性心疾患」は目標通り患者数は減少しています。また入院医療費についても H28 に比べて減少しています。一方「糖尿病性腎症」については患者数が増加しています。

中間評価のまとめとしては、まず「高血圧の改善」が良い傾向として評価できます。これは以前より血圧、脳血管疾患を市の重要課題と位置づけ、

	<p>高血圧に対する重症化予防の保健指導と併せて、保健委員さんと連携しながら各地域において減塩の取り組みや、家庭での血圧の測定による血圧への意識付けなどに取り組んできたことが結果に現れているものと思います。</p> <p>一方で「糖尿病」については改善の傾向が表れていない指標が多く、現在の見附市の一番の課題であると言えます。糖尿病についてはメタボとも関連しており平成 29 年度よりメタボ対策と合わせて重点課題としてとらえ、市民の健診結果の理解度を深め重症化予防のために食事や運動等の生活習慣改善を図ってくれるための健康教育や、地域の保健委員さんと連携しながらのポピュレーション活動を展開しています。ハイリスクの方へは医師会と連携した重症化予防事業や糖負荷試験を活用した事業に誘導するなどして改善を図っています。</p> <p>今後もこの中間評価結果を踏まえて保健事業を進めていきたいと思っています。説明については以上です。</p>
岡村会長	<p>ただいまの事務局の説明に対しご質問、ご意見のある方はお願いします。</p>
河村委員	<p>高血圧が改善したというのは大変良いことだと思いますが、今度は糖尿病が問題だということで、この糖尿病というのは子どもの糖尿病という問題も近年言われていますが若い人が多いのでしょうか？糖尿病が増加している原因などわかっているのでしょうか。</p>
野崎係長	<p>血糖値やメタボが糖尿病の原因となりますが年齢とともにそういった方が増えていきます。メタボなんかは 40 歳台以降から徐々に増加していきますので過食と運動不足というのが一番の要因になるかと思います。メタボによって代謝が変化し血糖値異常がその後発生するといったつながった流れになっています。やはり健診を受けないと予防にはつながりませんので、若いうちから自分の体を見ていくということを周知するのが重要であると思います。若い人の場合は健診を受けて気づくとすぐ行動に移されたりしますので、若いうちにそのような気づきの機会が多くなると良いと思います。</p>
岡村会長	<p>他に無いようですので続きまして報告の 「②令和 2 年度見附市国民健康保険事業特別会計決算見込みについて」、 「③令和 3 年度見附市国民健康保険税率改定検討結果について」、 「④令和 3 年度国保制度の主な改正について」 の 3 点について一括で事務局より説明を求めます。</p>
山田係長	<p>それでは、報告事項 2 番「令和 2 年度決算見込みについて」から説明します。資料 2 をご覧ください。まず左側の歳入をご覧ください。 各項目の左にある番号で 1 番から 15 番が国民健康保険税の収入見込み</p>

額になります。現在の調定額に対し現年度分は収納率を 96.5%、滞納繰越分は 30%として見込んだ数字になり、合計で約 6 億 1 千 800 万円の見込みになります。

17 番の国庫補助金、20 番の県補助金は見込額を記載しています。

28 番一般会計繰入金は約 3 億 2,700 万円。このうち 29、30、33 番は確定額になります。

歳入合計見込額は約 35 億 4,400 万円となります。

次に右側の歳出をご覧ください。歳出は確定額が 55 番の国保事業納付金だけであり、それ以外は予算と同額か見込み額を記載しています。歳出に関しては予算額を超えて支払う事はありませんので歳出の最大見込になります。

歳出見込み額は約 34 億 5,400 円になります。

歳入歳出を差引きした形式収支では約 8,900 万円のプラスとなります。歳入の 35 番で繰越金が 8,100 万円でしたので令和 2 年度単年でみると差し引き約 800 万円の黒字となります。

次に報告事項 3 番の令和 3 年度国民健康保険税率改定検討結果について説明します。資料 3 をご覧ください。

年明けに県から来年度の国保税率を決めるのに必要な数字が提示されました。これをもとに検討し、税率を改正せずに据え置くこととしましたので説明いたします。

1 番をご覧ください。県が提示した見附市が国保税による収入として必要な額は前年度から約 3,600 万円減りまして約 6 億 7 千万円です。

2 番①をご覧ください。今の税率を据え置きにした場合の試算では不足は生じずに 1,700 万円の余裕があるという結果になりました。しかし、これは令和 2 年の所得が令和元年と変わらないという条件での試算になります。新型コロナの影響で所得は大きく減少することが見込まれますので、国保税も所得割分が大きく減少する事が見込まれます。そこで②をご覧ください。

これは国保加入者の所得が 1 割減少した想定で試算したものになります。それだと約 1,400 万円の不足になります。また、もっと減少が大きく 2 割所得が減少した場合は 4,600 万円の不足という試算結果がでています。

この所得の 1 割減、2 割減というのがそれだけで済むのか、という心配もありますが、一応推計の根拠としては、国保加入者の所得は合計で約 50 億円、そのうち約 10 億円が営業所得、約 20 億円が給与所得、13 億円が年金所得、7 億円はその他、となっています。一番影響を受けるのは営業所得かと思しますので、この 10 億円が半分の 5 億円に減少したものと仮定

	<p>すると 50 億円の 1 割減となります。また給与所得も影響うけて 2～3 割減少したとするともう 5 億円減少で、2 割減となります。なんとかここら辺の範囲内で収まるのではないかと推測しているところです。</p> <p>現在国保は基金で 1 億 5 千万円保有していますし、先ほど説明しました決算による繰越も 9 千万円近く見込まれておりますので、令和 3 年度国保税率は改正を行わずに据え置きとしたいと思います。</p> <p>最後に報告事項の 4 番、令和 3 年度国保制度の主な変更点についてです。資料 4 をご覧ください。</p> <p>まず一つ目ですが、「個人所得税の見直しにともなう国保税軽減判定所得の変更」です。これは所得課税の見直しにより基礎控除が 33 万円から 43 万円に増加し、一方で年金所得控除や給与所得控除は 10 万円減少する、という所得税関係の変更がまずあります。これに連動し保険税の 7.5.2 割の軽減が外れるといった不利益が生じないように、国保税条例を 12 月議会で改正しております。よって基本的にはこれまでと変化はないのですが、いわゆるフリーランスの方は軽減が適用されやすくなります。</p> <p>二つ目ですが「国保税の賦課限度額、軽減判定所得額の据え置き」です。近年はほぼ毎年国保税の賦課限度額、軽減判定所得が見直されてきましたが、厚労省方針により令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響による景気の動向などが不透明であることなどから、見直しは行わず据え置きとなりました。</p> <p>三つ目は「保険証への個人の枝番の付与」についてです。現在の国保保険証には世帯ごとの国保番号が記載されていますが、オンライン資格確認の開始に伴い、4 月から国保番号の他に個人ごとの枝番が記載されることになりました。発行済の証はそのまま使用し、4 月 1 日以降発行のもの（再発行や 70 歳到達による保険証の変更など）から変更します。8 月の一斉更新時には全員に枝番の付与された保険証が交付されます。</p> <p>報告については以上になります。</p>
岡村会長	ただいまの事務局の説明に対しご質問、ご意見のある方はお願いします。
河村委員	変更点の一つ目の控除額の部分についても一度教えてください。
山田係長	基礎控除額が 10 万円上がって、一方で給与所得控除と年金所得控除が 10 万円下がるので一般的には差し引きして変わらないことになります。
河村委員	どこか別のところだったかもしれませんが所得申告をしない人に対して申告するように勧奨するというのがあったと思うのですが申告しない人なんているんですか。

山田係長	<p>給与をもらっている人や年金をもらっている人は自分で何もしなくても所得情報が市にきますが、全く収入がない人なんかは自分で「無い」という申告をしないと未申告という状態になりますので国保税の減免が受けられないとか高額療養費の区分が上がるといったことがありますので、税務課の方で案内して申告してもらっています。</p>
岡村会長	<p>それでは次に次第4の「審議」に移ります。</p> <p>なお、審議事項の1、2は、いずれも見附市長からの諮問事項となっておりますので、審議を経て、市長へ答申することとなります。</p> <p>それでは、</p> <p>「① 令和3年度見附市国民健康保険事業運営方針等について」</p> <p>「② 令和3年度見附市国民健康保険事業特別会計当初予算案について」</p> <p>一括で事務局の説明を求めます。</p>
山田係長	<p>資料5をご覧ください。毎年この2月の運営協議会で次年度の運営方針についてご承認をいただいているところです。令和3年度においても、これまでと同様にここに記載のとおり1番の財政安定化対策から6番の広報活動の推進についての6項目を重点的に進めていくことといたします。</p> <p>まず、1番「財政安定化対策」については適正な税率の設定などを経て財政の安定運営に努める旨記載しています。</p> <p>2番「保険税の収納対策」ですが、こちらは税務課で実施しております。</p> <p>内容としては例年と同じ内容のものですが、④に記載のとおりペイペイなどのキャッシュレス決済での納付など新しい取り組みにより被保険者の利便性を図ります。</p> <p>令和元年度の国保税収納率は現年度分が96.93%で20市中4位、滞納繰越分は32.86%で20市中1位という高水準になっておりますので例年と同様の内容にはなりますがこれらの収納対策を継続してきます。</p> <p>次に3番「適用の適正化対策」においては日本年金機構提供の年金情報により国保の手続きを行っていない方に対し資格喪失や加入の手続きを促すこと、また先ほどお話しましたが所得未申告者に対し申告勧奨し正確な所得の把握に努めることを記載しています。</p> <p>次に4番「医療費適正化の推進」ですが①から③については専門職員のレセプト点検等による医療費の適正化を図ること、④⑤で医療費通知やジェネリック医薬品の差額通知の送付などによる適正化の取り組みについて記載しています。</p> <p>次に5番「保健事業の推進」についてです。</p> <p>1は先ほど説明しました第2期データヘルス計画に基づく効率的な保健事業の実施について記載しています。</p> <p>2は、人間ドックと脳ドックの助成事業の実施です。引き続き人間ドックは市外4箇所の健診機関と、脳ドックについても見附市立病院をはじめ</p>

4か所の健診機関と委託契約を結び実施をする予定です。ちなみに今年度は今現在で人間ドックが163名、脳ドックが47名の方から申込みいただいています。昨年度より人間ドックで50名ほど、脳ドックで20名ほど少ない状況です。今年はコロナの関係もあり例年行っていた年齢層を区切った受診勧奨なども行いませんでしたので減少については致し方ないかなと思っています。

次に6番「広報活動の推進」についてです。

①、②として、広報みつけ、年3回発行している『国保 健康だより』、見附市ホームページを活用する他、制度を説明したチラシを送付することで、わかりやすく情報をお伝えしていきたいと考えています。

最後に、7番の「会議等の予定」ですが、表左側が運営協議会関係になります。例年どおり、8月と2月に2回の開催を予定しております。

以上で令和3年度見附市国保運営方針案の説明を終わります。

続いて、審議事項2番、令和3年度国民健康保険事業特別会計の予算案について説明いたします。資料6をご覧ください。

この予算案は、3月市議会に上程いたしますが、それに先立ち、この運営協議会でご説明させていただくものです。なお、歳入歳出それぞれの項目についての説明は資料6-2に記載しておりますので、そちらもあわせてご覧ください。

はじめに、歳入について説明します。

1番の国民健康保険税についてですが、被保険者数の減少を考慮し前年度に比べ3,700万円の減の5億6,500万円となっています。

20番県補助金のうち、21番普通交付金は見附市が支払った保険給付費を県が全額交付するというものになります。歳出の40番から52番がこれに対応するものとなります。

次に歳出について説明します。右側をご覧ください。

38番総務費は職員給与を含む事務費になります。39番から54番は保険給付費です。保険給付費は約1億1千万円の増となっています。歳入21番の普通交付金と同じく約1億1千万円の増となっています。

55番の国保事業納付金は先ほど国保税率検討のところで説明しましたように県への納付額が減少しており、前年度に比べ約4,000万円の減となっています。他、ご覧のとおりです。

以上、令和3年度国保特会の予算規模としましては、歳入歳出ともに35億1,800万円で、前年度と比べ8千万円の増額となっています。

以上で説明を終わります。ご審議をお願いします。

岡村会長

ただいまの事務局の説明に対しご質問、ご意見のある方はお願いします

	す。
河村委員	一般会計繰入金の3億2,600万円というのは見附市から繰り入れるということによいのでしょうか。
山田係長	その中にある保険基盤安定繰入金の軽減分などは国保税の軽減分について国、県などからのお金が見附市の一般会計に入り、そこから繰り入れられるものです。他にもそのようにもともとは国・県からのお金というのが多く、純粹に見附市から繰り入れるものとなると31番の職員給与費等の繰入金があげられます。
河村委員	努力して医療費を下げたところに交付されるお金というのが以前にあったと思うのですが。
山田係長	それは22番の保険者努力支援になります。ここの1,600万円がインセンティブでもらえる額となります。
河村委員	ここの部分も重要になってくるのでしょうか。
山田係長	ここでもらえる額が増えればその分国保税で賄う必要額は減ることになりますので重要かと思います。
岡村会長	他にご意見が無いようですので、審議事項の1番、2番については原案のとおり承認し、答申することで、ご異議ございませんでしょうか。
	(異議なし、の声あり)
岡村会長	ご異議が無いようですので、原案のとおり答申することといたします。それでは「5その他」として、事務局のほうで何かあればお願いします。
山田係長	事務局からはございません。
岡村会長	それでは以上を持ちまして会議を終了させていただきます。ありがとうございました。 (終了：午後2時20分)

見附市国民健康保険運営協議会 会長

署名

見附市国民健康保険運営協議会 会議録署名委員

署名